

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第4回高松市M I C E 振興戦略策定懇談会
開 催 日 時	平成29年2月22日（水）15時00分～15時35分
開 催 場 所	高松市役所 32会議室
議 題	(1)高松市M I C E 振興戦略（仮称）の原案について (2)その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員 （11名）	安部委員、井上委員、橋村委員（副会長）、 鹿庭委員、坂口委員、土居委員、西村委員、 三村委員、宮武委員、村山委員（会長）、 矢田委員
傍 聴 者	1人 （定員5人）

会議の経過及び結果

会議の冒頭、委員の半数以上が出席しており、会議が成立していることを確認し、議事に移った。

○副会長の選任について

角谷副会長の委員変更のため、高松市M I C E 振興戦略策定懇談会設置要綱第4条第2項の規定に基づき、会長指名により副会長が選任された。

副会長 橋村 秀樹 委員

(1)高松市M I C E 振興戦略（仮称）の原案について

事務局より、高松市M I C E 振興戦略（仮称）の原案について説明。その後、委員より意見を聴取した。

（会長）

・副題の「おいでM I C E 瀬戸の都・高松」は何と読むのか？

(事務局)

- ・「おいでまいす せとのみやこ たかまつ」で、讃岐弁で「いらっしゃい」を意味する「おいでまい」と「M I C E」を掛け合わせた造語である。

(会長)

- ・なかなか良いと思う。

(委員)

- ・「ウォーターフロント」は認知が広がっているが、「シーフロント」というとあまり一般化されていないように思う。「シーフロント」という名前がつくホテルもあり、都市計画マスタープランとの関連性も分かるが、少し気になる。

(事務局)

- ・交流人口拡大のために、沿岸部や離島などをいかしていきたいということから、より海を意識して、「ウォーターフロント」ではなく、「シーフロント」を使うものである。

(会長)

- ・M I C E 関連施設一覧（原案 49、50 ページ）の「アフターコンベンション、ユニークベニュー等」で、高松市の施設が中心に書かれている。
- ・例えば、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の関係などで高松市の島のみに限らず、「瀬戸内海の島々」としたり、アフターコンベンションで「商店街」を追記したりすると、よりよいものになると思う。全体の文量の関係もあると思うが。

(事務局)

- ・その点については、冊子作成の段階で対応していきたい。

(委員)

- ・今後、さらに高松市のコンベンション、M I C E 事業のために頑張っていきたい。

(会長)

- ・これからのM I C E 振興を担っていかねばならないということで、よろしくお願いします。

(委員)

- ・M I C E 誘致は、現状国内向けが多いと思うが、今後海外にP Rする時には、「おいでM I C E」はどうやって訳されるのか。コピーをどうするかなどの予定はあるか？

(事務局)

- ・海外向けに使うことまでは今の段階では考えられていない。なかなか英訳というのは難しい。

(委員)

- ・海外向けパンフレットの作成予定は。

(事務局)

- ・香川県MICE誘致推進協議会がパンフレットを作成されている。また、本市でも情報発信ということで誘致ツールの整備にも取り組んでまいりたい。

(会長)

- ・いただいた意見も参考に、実施段階でどのようにするかを、皆さんの御協力をいただきながら、進めていただければと思う。

(2) その他

- ・今後のスケジュールについて
平成29年3月末に本戦略を作成する。

以上をもって、本日の会議を終了することとした。

(閉会)